

第1回各務原特別支援学校跡地等利用検討委員会 議事要旨

| | |
|------|---|
| 日 時 | 令和5年2月17日(金) 14時~15時20分 |
| 場 所 | 産業文化センター7階第1大会議室 |
| 出席委員 | 益子典文委員長、犬飼利嗣副委員長、木村徹之委員、児島由香委員、 林桃子委員 |
| 欠席委員 | 下野誠司委員 |
| 議 題 | 議題1 委員長・副委員長の選出について 議題2 会議の公開等に関する要領(案)について 議題3 事業の概要について |

議事要旨

事 務 局 林委員のオンラインでの出席を認めてよいか。

委 員 (賛成全員)

事 務 局 林委員のオンラインでの出席を認める。

1. 委嘱状交付

加藤教育長から各委員に委嘱状が手渡された。

2. 教育長あいさつ・自己紹介

3. 議事

議題1 委員長・副委員長の選出について

事 務 局 (「各務原市附属機関設置条例」第6条第1項の規定に基づき、委員長を互選により選出することを説明)

委 員 益子委員にお願いしてはどうか。

事 務 局 益子委員を委員長にという意見が出たが、どうか。

委 員 (賛成全員)

事 務 局 本委員会の委員長は益子委員に決定する。

委 員 長 (就任あいさつ)

委 員 長 議事進行を交代する。まず副委員長を決めたいが、どうか。私の方から犬飼委員を指名したいが、いかがか。

委 員 (賛成全員)

委 員 長 本委員会の副委員長は犬飼委員に決定する。

副 委 員 長 (就任あいさつ)

4. 教育委員会からの諮問

加藤教育長から委員会に諮問がなされ、委員長に諮問書が手渡された。

5. 議事

委 員 長 傍聴について、傍聴希望者の入室を許可してよろしいか。

委員（賛成全員）

委員長 傍聴希望者の入室を許可する。

議題2 会議の公開等に関する要領（案）について

事務局（会議の公開等に関する要領（案）について、資料により説明）

委員長 この案について、ご意見いかがか。

委員（賛成全員）

委員長 本委員会の会議の公開等に関する要領はこの通りとする。

議題3 事業の概要について

事務局（特別支援学校跡地等利用検討事業の概要について、資料により説明）

委員 諸計画を踏まえ、各事業に取り組んでいるところだと思うが、その内十分対応できている事業・課題がある事業が整理されるとよい。また、既存の施設で十分対応できている事業・施設的に課題がある事業が示されると意見を出しやすい。

事務局 次回委員会において、意見があった点について資料を提供したい。

委員 跡地の利用として、子ども等がのびのびと活動できるような場となればよいと考える。

委員 全4回で方針を決定するため、2・3回目で大枠を決定する必要がある。特に第2回委員会が大切であり、市で検討している内容も提示してもらい、決定していく必要がある。スケジュールがタイトになっており、予算等のスケジュールがあるのであれば、例えば昨年度から検討を始めることは出来なかったかと思う。

市側の案に対し承認をするような形式的な会議になってしまうのではという懸念がある。

副委員長 スケジュールが非常にタイトだと感じたが、各務原市は総合計画をはじめとした各種計画、課題が整理されている。スケジュール通り円滑に進める上で、具体的な内容に踏み込んでいけるよう資料の提供をお願いしたい。課題解決を進める上で、様々な制約があるため、その点についても明示してもらいたい。

委員 このスケジュールが絶対でないのであれば、社会実験のように、試行期間を設けてもよいのではないかと考える。スケジュールの絶対性について、確認したい。

事務局 特別支援学校の移転後速やかに施設を有効活用するため、令和6年度に設計、令和7年度に改修工事を実施したいと考えており、このようなスケジュールとしている。

委員 利用しない期間をできる限り少なくするスケジュールは理解できる。ただし、供用開始を早くすることが最も効率的な方法かどうかについても委員

会で検討できれば良いと考える。設計・工事期間を縮めるようなやり方は今後に歪みを及ぼす可能性があると考え、無理をしない範囲で調整してもらいたい。

委員 長 議論するための材料があつて、初めてスケジュールについても納得した議論ができると思う。

副委員 長 制約については、スケジュールだけではなく、財政的な面等もあるため、それも次回提示してもらいたい。

事務局 スケジュールがタイトであるという点について、令和3年度に庁内で検討を行い、特別支援学校跡地という建物の性質や建物が木造であること、他用途で使用する場合、改修に多くのコストを要する等の理由から、教育分野を前提に検討を進める方針を決定している。そうした前提があり、スケジュールを決定した。ただし、議論が不十分であれば、8月に終わらない可能性もあり得ると考えている。

委員 新特別支援学校と現在の特別支援学校の役割は重複しているのか。新特別支援学校開校後は、生徒たちは現在の学校を利用しないという理解でよいか。

事務局 新特別支援学校は、小中高一貫で知的障がいのほか、肢体不自由・病弱の子どもも対象となるため、現在の特別支援学校の役割を包含している。

委員 長 新特別支援学校の内容と、現在の特別支援学校の関係を示すように示してもらえると、議論が進むと思う。

委員 新特別支援学校の開校と、その1年後の跡地等の供用開始をひもづけて考える必要はないという理解でよいか。

事務局 建物の役割という点では、ひもづけるということはなく、役割を終えた建物をできる限り早急に次の用途として活用したいという考えである。

6. 今後のスケジュールについて

事務局 (今後のスケジュールについて説明)